

【事業報告】

第5期決算は、決算期を12月末から3月末に変更することに伴う2022年1月～3月の3か月変則決算になります。この時期は、ラクロスの活動はオフシーズン、且つ、会員有効期間の変更によって2022年度会員の会費収入も4月以降になる一方で、支出は通年の固定費3か月分、3年ぶりの日本代表活動経費等が計上されるため、支出超過の予算を組んでおりました。

結果、収入は予算比フラットの26百万円、内、会費収入はJapan Lacrosse Founders制度による個人賛助会費のみの0.5百万円、その他収入は25百万円となりました。その他収入は、企業協賛11百万円、資格認定料収入9百万円等です。一方、経費については、予算比▲20%の43百万円となりました。コロナ禍の影響による日本代表活動の予算未消化、およびオンライン化定着による旅費交通費抑制が継続していること等が主因です。最終損益は支出超過予算比+11百万円の▲17百万円となり、純資産は144百万円となりました。

【ご参考：JLA決算推移】

2018年一般社団法人化後、コスト構造改革を進展させつつ、戦略的な人的・資源配分を行ってきました。2020年以降のコロナ危機を乗り越えつつあり、成長戦略を描くステージに入ってきました。経常損益は期またぎ、決算期変更等もあり単年度では大きく変動をしてきましたが、直近4期平均では概ね収支均衡しております。

	2019/1-12	2020/1-12	2021/1-12	2022/1-3	2022/4-2023/3(予算)
経常収益	497,007,434	239,986,741	276,376,085	25,920,739	417,500,000
（内：会費）	210,120,602	142,256,354	174,783,000	532,664	175,000,000
（内：その他）	286,886,832	97,730,387	101,593,085	25,388,075	242,500,000
経常費用	520,849,771	268,801,969	199,903,207	42,683,229	437,500,000
当期経常増減額	-23,842,337	-28,815,228	76,472,878	-16,762,490	-20,000,000
当期経常外増減額	-281,000	-245,700	-70,000	-17,500	0

正味財産期末残高	113,696,509	84,635,581	161,038,459	144,258,469	124,258,469
----------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------

※新入生無償化